



西田ゆずる県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

森田知事初の予算案を審議

6月県議会

予算委員会質疑から

1148億4000万余円の増額補正



2月に続き、予算委員会の質疑に立つ西田譲県議

西田議員 市町村の振興を図り、地域の秩序ある発展と住民福祉の向上に寄与するため、市町村等に事業資金の一部を貸し付けるものとして、市町村振興資金があります。しかし、この市町村振興資金の近年の予算および貸付額をみると、貸し付け総額は予算額のおよそ二分の一にとどまっています。貸付額が減少傾向にある理由は何か。

市町村課長 市町村においては、最近の厳しい財政状況を反映し、歳出削減を図るために投資的経費を抑制していることから、市町村振興資金の貸付対象となる事業が減少し、市町村からの貸付要望額が少なくなっていることによるものと考えております。

西田議員 公共施設の老朽化に伴って派生する改修などによる経費にも積極的に市町村振興資金を活用すべきと思うが、どうか。

市町村課長 市町村振興資金は、県から市町村に対する貸付金ですが、複数年にわたっての借入金となるため、地方債と位置づけられます。市町村が地方債を財源とすることができるとは、公共施設、公用施設の建設事業費など地方財政法第五条に定められるものに限りません。ご指摘の公共施設の改修については、可能な限り応えてまいりたいと思っております。

熟度に応じ観光支援を実施

西田議員 森田知事の目玉事業の一つに観光地魅力アップ緊急整備事業があるが、観光圏とその他の地域では、補助率が違うのはなぜか。

観光課長 観光圏地域は、複数の市町村やさまざまな関係者が連携しながら、主体的に魅力ある観光地づくりを目指している地域です。観光圏を広域連携の先進事例として位置づけていることから、補助率を高くしているところですが、他の地域でも、観光圏のような広域連携による滞在型観光の定着を目的として、魅力ある観光地づくりを行うていたと考えています。

観光課長 地域観光振興に取り組む熟度はさまざまであることから、熟度に応じた支援を行うことが重要だと考えています。地域特性や熟度に応じて、観光資源の開発、人材育成、広域連携など段階に応じた支援を行うことにより、県全体の観光振興を図ってまいります。

八千代市特集

県議一期目で、三十三歳という若さながら、自民党内でも財政・政策通としての評価が高い八千代市選出の西田譲(に)した・ゆずる(る)県議は、二月の当初予算県議会に続いて、補正予算を審議する六月県議会の予算委員会質疑に立ち、市町村振興資金が予算枠の半分しか貸し付けられていないなどの問題を指摘し、持論である積極財政論を展開しました。

六月補正予算は、事実上、森田新知事の初の予算編成で、知事は「マニフェストに掲げた施策のうち、早期・重点的に実施すべき事業を予算化した」と述べ、東京湾アクアラインの社会実験としての八百円化などに強い意欲を示しました。西田県議の質疑を特集しました。

市町村課長 市町村振興資金は、県から市町村に対する貸付金ですが、複数年にわたっての借入金となるため、地方債と位置づけられます。

西田議員 公共施設の老朽化に伴って派生する改修などによる経費にも積極的に市町村振興資金を活用すべきと思うが、どうか。

市町村課長 市町村振興資金は、県から市町村に対する貸付金ですが、複数年にわたっての借入金となるため、地方債と位置づけられます。市町村が地方債を財源とすることができるとは、公共施設、公用施設の建設事業費など地方財政法第五条に定められるものに限りません。ご指摘の公共施設の改修については、可能な限り応えてまいりたいと思っております。

市町村課長 市町村振興資金は、県から市町村に対する貸付金ですが、複数年にわたっての借入金となるため、地方債と位置づけられます。

森田知事の主な予算項目	
1. マニフェストへの的確な対応	
○アクアライン通行料800円化	
・アクアライン料金引き下げ社会実験	10億円
・東関道館山線4車線化	63億7500万円
・観光地魅力アップ緊急整備事業	1億円
○移動交通の整備	
・移動交通整備事業	9700万円
○私学助成の充実	
・私立学校経常費補助	216億1400万円
○子育て施策の充実	
・子育て安心応援事業	19億5700万円
・保育所整備促進事業	6億9000万円
○医療・福祉	
・医師確保支援事業	3億2300万円
・福祉人材確保対策事業	1億5300万円
2. 国の経済危機対策への迅速な対応	
○経済・雇用対策の拡充	
・雇用対策の拡充	25億1000万円
・中小企業振興資金の融資枠拡大	200億円
○公共事業の前倒し実施等	
・県立学校耐震化推進事業	8億8400万円
・橋梁耐震化促進事業	6億円
・舗装道路修繕事業	30億円
・特別支援学校・設備整備事業	11億5500万円

●県政報告会を随時開催中!! お問い合わせは↓

西田ゆずる 県議事務所

〒276-0042 八千代市ゆりのき台 4-7-7 飯田第8ビル3階

TEL.047-486-4680

災害対策本部常設を検討

西田議員 一昨年九月県議会の一一般質問で、地震災害の予防対策について、被害想定に対する減災目標の設定とその実現を訴えさせていただきました。県は、この秋を目途に「地域防災戦略」を策定し、減災目標の設定とその実現に向けた施策をまとめることですが、一問目として、現在、災害対策本部はどこに設置することになっているのか。

消防地震防災課長 県内で震度5強以上の地震や大きな災害が発生した場合は、そのつど、本庁舎五階の大会議室に災害対策本部を設置することになっています。

西田議員 現状では、災害対策本部の設置は、五階の会議室を使用するということが、電話やFAX、PCといった情報端末を設置するところから始まるようでは、一刻を争う応急措置が立ち遅れるのではないかと。現在、策定中の「地域防災戦略」の中に、迅速な応急対応ができるよう、災害対策本部の常設化を含め、機能強化を盛り込むべきと思うが、どうか。

消防地震防災課長 迅速な初動体制の確立のため、現在、土日・休日を含めた宿日直体制により、三百六十五日、二十四時間体制を取っているほか、災害対策本部設置の訓練も行っているところですが、災害発生時には、初動の情報収集と対応が大事であり、また、国や近隣都県市でも常設としているところが多いことから、本県においても常設の災害対策本部があることが望ましいと考えております。

西田議員 庁舎内にスペースを確保するという課題はありますが、初動体制の充実・強化に向け、災害対策本部の常設について検討してまいりたいと考えています。



新型インフルエンザ対策

行政の連携体制が必要!

西田議員 新型インフルエンザ対策を実施するに当たり、国のガイドラインや県のマニュアルを読む限り、国・県・市町村がそれぞれに連携し、役割を果たすべし」と書いてあるものの、中身をみれば「適宜協力する」とあるだけで、またたくまに細かくなっていきません。市町村の担うべき役割とはどのようなものか。

健康危機対策監 新型インフルエンザ対策を実施するに当たり策定した「対応マニュアル」では、市町村が担うべき役割として①市町村が持つさまざまな広報媒体を用いた、住民への正しい情報の提供と予防策の周知②相談窓口の設置③高齢者世帯や介護を受けている人など、要援護者への必要な支援などがあります。

八千代広域公園、一部工事着手

西田議員 八千代広域公園は、平成十六年に中核施設の県立図書館設置が堂本前知事の判断で白紙撤回されました。これまで、計画の見直しなどについて、県はどのような姿勢で取り組んできたのか。

公園緑地課長 八千代広域公園では当初、県立中央図書館を予定しておりましたが、社会経済情勢等の変化を踏まえ、公園計画の見直しを行うため、平成十六年度に設置した県と八千代市による合同検討会議で検討を進め、基本計画案を作成しました。この基本計画案について、平成二十年一月にパブリックコメントを実施し、同年七月からは県民によるワークショップを開催して、基本設計を作成し、平成二十一年二月に事業計画案の変更を行いました。

このように、地元八千代市とは十分な協議調整を行うとともに、県民の意見を聞きながら、公園計画の見直しを行ってまいりました。

西田議員 今後、どのように整備を進めていくのか。

公園緑地課長 これまで用地買収を進めてきました。今年度、新川沿いの園路の一部の整備など、工事にも着手したいと考えています。

今後の整備につきまして、用地買収の状況等を踏まえて、八千代市と協議しながら進めてまいります。

6月県議会 予算委員会 挑戦こそ進歩!

西田ゆずる

西田県議が総務常任副委員長に就任



再生が迫られるいすみ鉄道を視察する西田県議(右から2人目)

自民党若手のホープと目される西田県議は、六月県議会の最終日に、八つに分かれる常任委員会の委員長指名に基づき、一期目ながら新たに総務常任委員会の副委員長に就任しました。

総務常任委員会は、県の行政組織の中でも筆頭部の総務部を所管する委員会です。県庁組織一万人の人事や財政・予算編成だけでなく行政改革、税務、市町村行政、災害対応をはじめとする消防防災、私学助成など総務全般の予算執行を県議会としてチェックする機関です。

党内でも、財政通として評価の高い西田県議にふさわしいポストで、今後ますますの活躍が期待されています。